

ランピースキン病について

令和6年11月 宮崎県

ランピースキン病とは（人には感染しません）

- ★ ランピースキン病ウイルスによる牛や水牛の「届出伝染病」
- ★ 主な症状は、皮膚の結節や水腫、発熱、乳量低下



口蹄疫とは
異なります

（参考）皮膚の結節



- ★ 治療法はないが、発症牛は徐々に回復（死亡率1～5%）
- ★ ウイルスが侵入する要因は、感染した牛の移動・汚染した飼料や器具の移動、感染牛を吸血した昆虫などによる伝播

ランピースキン病の発生状況は（福岡県で国内初の発生）

- ★ これまでに福岡県で3事例、熊本県で1事例の発生を確認（感染牛が回復するまでの期間、牛や生乳などの移動や出荷を自粛）

ランピースキン病を県内の農場へ持ち込まないために

- ★ 本病が発生している県からの牛の導入を極力控える
- ★ 県外から牛を導入する場合は、2週間程度の隔離飼育

〔逆性石鹼などの消毒薬が有効〕
車両消毒、牛舎消毒を習慣づけ
ましょう!!

〔早期発見・早期通報〕
本病を疑う場合、管理獣医師
又は家畜保健衛生所へ連絡を!!